みんなで受診しよう
死亡率は減ったが ふえる新患者
結核健康診断

昭和38年度の結核健康診断（れんとげん間接撮影）は七月三十一日の結核地区を最後に第一次の在郡者一般と学校関係を終了し、受診成績は七〇・二%でありました。

最近、新薬の出現で結核による死亡率は減ったとはいえ、患者の数はそのまま減ってはいません。ねこの地域によっては増えています。本市でも昨年一〇四人、一昨年一〇二人の発生をみており、新患者一七七名（新以外の結核患者三名）、転出等調査不能者の結核